



平成 25 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 中越パルプ工業株式会社
代 表 者 代表取締役社長 原田 正文
(コード番号 3877、東証第 1 部)
問 合 せ 先 管理部長 松元 孝夫
(TEL. 0 7 6 6 - 2 6 - 2 4 0 4)

発電事業に関するお知らせ

中越パルプ工業株式会社は、鹿児島県薩摩川内市に再生可能エネルギー固定買取制度を利用した発電事業を目的とするバイオマス燃料発電設備および太陽光発電設備を設置することを決定しましたので、下記の通りお知らせいたします。

当社は、間伐材、竹などの環境配慮型製品の生産・販売等、地球環境にやさしい企業への取り組みを続けております。今回の発電事業は、自然エネルギーの有効活用を実現し、地球環境負荷の低減・循環型社会への貢献を推進するものであります。

1. バイオマス燃料発電設備設置について

当社は、これまで森林資源の有効活用を目的に、鹿児島県を中心とした九州中南部地域の間伐材や竹材の集荷拡大に努めて参りました。この経験とこの地域での強い集荷基盤を活かし、さらなる未利用間伐材の利用促進を図るため、木質バイオマス燃料を使用した発電事業に参入する事にいたしました。

バイオマス燃料発電設備の概要

- 1) 設置場所 : 中越パルプ工業株式会社 川内工場内
- 2) 設備能力 : 約 2.5 MW (発電能力)
- 3) 売電量 : 約 1.54 GWh/年
- 4) 売上高 : 約 4.8 億円/年
- 5) 投資額 : 約 8.5 億円
- 6) 使用燃料 : 未利用木材等の木質バイオマス燃料
- 7) 発電開始時期 : 2015 年 11 月

2. 太陽光発電事業への参入について

当社は、鹿児島県薩摩川内市が進めている「次世代エネルギー導入を通じたまちづくり」の取組の一環として太陽光発電設備を設置し、発電事業に参入する事にいたしました。

本事業は、環境負荷の少ない循環型社会の実現のため、遊休社有地に太陽光発電設備を設置し、自然エネルギーの有効活用を促進する事を目的としています。

太陽光発電設備の概要

- 1) 発電所名 : 中越パルプ工業株式会社 唐浜メガソーラー発電所
- 2) 所在地 : 鹿児島県薩摩川内市
- 3) 発電能力 : 1, 810 kW
- 4) 年間想定発電量 : 1, 900 MWh
- 5) 売上高 : 約0.7億円/年
- 6) 投資額 : 約5億円
- 7) 発電開始時期 : 2013年8月

3. 今後の見通し

当該事業により平成25年3月期の当社連結業績および個別業績に与える影響はございません。

なお、来期以降の業績に影響を与える場合には、来期業績予想公表時に織り込んで公表いたします。

以上

(参考) 当期連結業績予想(平成25年2月5日公表分)及び前期連結実績

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	連結当期純利益
当期連結業績予想 (平成25年3月期)	91,000	0	0	0
前期連結実績 (平成24年3月期)	100,637	3,669	3,515	1,100